

## 「考えて生きる」

人間には、他の動物には欠けているもの、すなわち「考えて生きる」、生き方を工夫する、「よく」生きようと努力することができるという特権が与えられている。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

夜空に姿を現す月は神秘的な光を放ち、見上げると自然と心が安らぎます。満月は季節の移り変わりや農耕などの目安のため様々な呼び名が付いており、6月はストロベリームーンと呼ばれているそうです。夏至に近い満月は地平線に近く、少し赤みがかった色に見えることもあります。見ると幸せになれるという言い伝えもあることから、一日も早い新型コロナウイルスの終息を祈るばかりです。

子どもたちは葉っぱや花、ラップの芯や空き箱、包装紙など自然物や廃材を使い遊びの中でやってみたい、作ってみたいと組み合わせたり繋げたりしながらイメージや独創性を繰り広げています。また、土に触れ穴を掘りたい、水を汲みたいと思った時は周囲を見渡し枝や石を見つけ試行錯誤しながら道具として使ったり、自発的な行動で考えたり試みたりしています。このように代わりになるものを見つけ、どのように使えばよいかを考える思考力は、たくさんの体験をする中で培われていくのだと思います。

成長と共に、今あるもので何とかしようとする力、工夫することを楽しめる力は、困難にあった時や心が折れそうになった時にも、物事を前向きに考える力や再起力へと繋がっていくのではないのでしょうか。見たい触りたい、知りたいの探索活動の中で行動を広げ、好奇心を安心して発揮できるような環境づくりの中、豊かな経験が出来、様々な力が育まれるような保育を行っていききたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

## 6月聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです

ペトロの手紙I 4章10節

## 6月主題

### 「ふれる」0歳

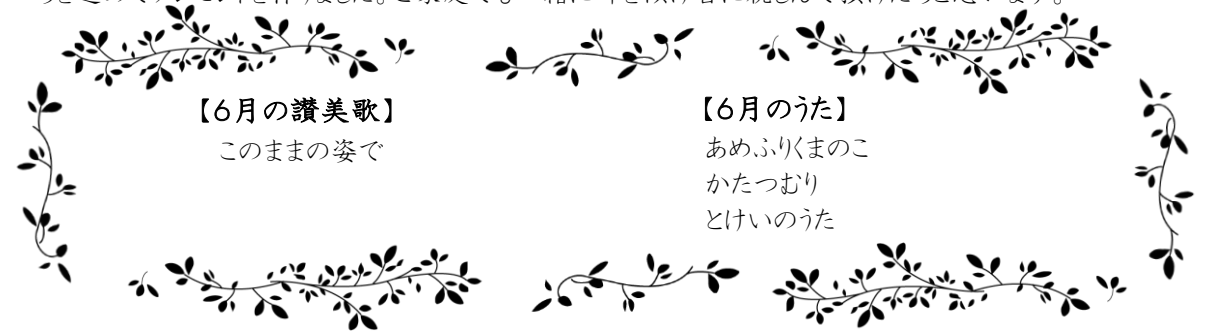
- ・保育者の祈る姿に接する。
- ・絵本や歌にふれ、心地よさを感じる。
- ・まわりの人やものに興味をもち、関わろうとする。

### 1・2歳

- ・保育者の祈りのことばに心を合わせようとする。
- ・好きな場所、人、ものに関わろうとする。
- ・思いや主張やこだわりを認められ生活する。

## ～子どもたちの姿～

紫陽花の花が少しずつ色付き、梅雨の気配を感じる時期となりました。子どもたちは、急に降り出した雨音に気付き「何か聞こえるね」と耳を澄ましながら「ぼちゃぼちゃって言うてる」「ぼつぼつだよ」と聞こえてくる音を自分の言葉で表現する姿が見られました。私たちの身の回りには自然や乗り物、遊んでいる時など様々な音が溢れています。今年度は「音」をテーマに、聴覚とその他の五感(視覚・触覚・嗅覚・味覚)を結びつけた活動を取り入れながら言葉や表情、身体で表現し発見する楽しさや喜びから興味関心を持ち、見たり考えたりしながら遊びを膨らませていきたいと思えます。ファミリーデーでは、散歩で見つけた枝や木の実などを箱の中に入れてありがたの気持ちを込めてプレゼントを作りました。ご家庭でも一緒に耳を傾け音に親しんで頂けたらと思います。



6月の予定表	月	火	水	木	金	土	日	
	1 衣替え	2	3	4 虫歯予防デー	5 ファミリーデー	6	7	
	8 身体測定	9 検体再提出日	10 時の記念日	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22 避難訓練	23	24	25	26	27	28	
	29	30 クレイシュ通信						
	<small>◎気温の差があるため、半袖と薄い長袖の持参をよろしくお願ひします。 ◎汗を拭くタオルの持参をよろしくお願ひします。</small>							